

令和6年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

認定こども園上小泉保育園

教育・保育理念	子どもの最善の幸福のために、よりよい環境の中で美しい心と、丈夫な体を養い、信頼される心豊かな子どもを育てます。							
教育・保育方針	豊かな感性を持ち主体的、意欲的に生活し自分を表現できる子どもを育てる。							
教育・保育目標	★意欲を持って過ごし元気に遊ぶ子ども ★心身ともに健康で思いやりのある子ども ★感性豊かな子ども							
●1号認定：教育時間→8:30～16:30				主な行事	・入園式・誕生会・身体測定・保育参観・運動会・夏まつり・お泊まり保育・遠足 ・生活発表会・クリスマス会・もちつき・豆まき会・ひなまつり会・お別れ会・卒園式			
●2・3号認定：標準保育時間→7:00～18:00 *延長保育時間→18:00～19:00					特色ある教育と保育			
●2・3号認定：短時間保育時間→8:30～16:30 *延長保育時間→7:00～8:30 16:30～19:00				・リズム指導(講師指導)・スイミング(滑川室内温水プール)・お茶会				
家庭との連携		小学校への接続・連携		地域の実態に対応した保育事業・行事参加				
・園児の生活全体を豊かにするために、園での様子・家庭での様子を密に伝え合う。 ・園だより、HP、懇談会等にて情報を共有する。		・小学校教育への円滑な接続に向けて園児と児童の交流、保育園職員と教師の意見交換の機会を図る。 ・「育ちの支援・引継ぎシート」の記入 ・児童保育要録の作成		・一時預かり、延長保育、休日保育 ・すくすくサロン(子育て支援事業)・保育園見学 ・公民館まつり、敬老会等の地域の行事への参加				
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
教育及び保育目標(重点事項)	個人差に応じた生理的欲求を十分に満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き、情緒を安定させる。	探索活動を通して、聞く、見る、触れるなどの経験を楽しみ、周囲の人や物への興味関心を広げ、意欲へとつなげる。	見立て遊びやごっこ遊びなどを通して象徴機能や観察力を発揮させながら遊びを広げたり、喜怒哀楽を十分に表現したりする。	保育者や友だちと関わりながら十分に体を動かして遊ぶ中で、言葉の基礎を培い、相手の気持ちに気付き共感しようとする。	友だちや集団で活動する楽しさを味わい、共感したり葛藤したりする中で、相手の思いに気付き思いやりの気持ちを持つ。	生活や遊びの中で、一つの目標に向かって意欲的に活動し、工夫したり協力したりして、達成感や充実感を味わう。		
共通目標	←遊びを通して、主体的・対話的・深い学びが展開できる環境の中で、心身ともに健康に過ごす→							
養護	生命の保持	・生理的欲求の充実と健康増進を図る ・応答的な触れ合いを大切にすること ・情緒的な絆を形成する		・生活リズムの形成を促す ・適度な運動と休息を充足させる		・基本的な生活習慣の確立を目指す		
	情緒の安定	・温かなやり取りによる心の安定を図る		・自我の育ちを受容し共感する		・主体性を育む		
乳児期の保育に関するねらい及び内容の三つの視点	健やかに伸び伸びと育つ 身近な人と気持ちよく通じ合う 関わり身近なものが育つ	満一歳以上児の保育に関するねらい及び内容の五領域	健康	・歩く経験をたくさんしてしっかりと歩けるようにする。	・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びや、手指を使う遊びを十分に経験する。	・いろいろな遊びの中で十分に体を動かし、運動することへの意欲につなげる。 ・健康的な生活のリズムを身につける。	・全身を使う遊びや運動に興味を持ち、進んで体を動かして遊ぶ。 ・自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を自分でする。	・安全について理解して行動したり、ルールのある集団遊びを楽しんだりする。 ・健康的な生活の仕方を知り、必要性を理解し見通しをもって行動する。
			人間関係	・保育者との安定した関係の中で、身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々に周囲の友だちへの興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。	・保育者の仲立ちにより、周囲の友だちとの関わり方を少しずつ身につける。	・保育者や友だちと共に過ごしたり遊んだりする楽しさを味わう。 ・保育者や友だちと一緒に、簡単なルールのある遊びを楽しむ。	・友だちのよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・友だちと楽しく活動する中で、きまりの大切さに気付いたり、自分たちでルールを作り守ろうとしたりする。	・友だちと共通の目的を見出し、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わう。 ・他人の存在に気付き、相手を尊重する気持ちをもって行動しようとする。
			環境	・見る、聞く、触るなど、五感を使って十分に環境と関わり、様々な感覚の働きを豊かにする。	・見る、聞く、触るなど、様々な物に触れ合う中で、好奇心や探求心をもって関わる。	・身近なものに興味をもって関わり、大切にしようとする気持ちをもつ。	・身近なものに興味をもって関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを取り入れて遊ぶことを楽しむ。	・身近な自然と触れ合い、様々な事象を見たり考えたり、試したりする中で、数量や図形、性質や仕組み、簡単な標識や文字に関心をもつ。
			言葉	・保育者の応答的な関わりにより言葉のやりとりを楽しむ、身振りや言葉で気持ちを表現しようとする。	・保育者を仲立ちとして、友だちとの言葉のやり取りを楽しむ。 ・生活に必要な簡単な挨拶が、保育者と一緒に言えるようになる。	・保育者や友だちと、言葉を交わす楽しさを味わう。 ・絵本や物語などに親しみ、想像を巡らせたりに関心をもつ。	・保育者や友だちとの会話を楽しみ、相手の話を興味をもって聞く。 ・経験したことや思いなどを自分なりに言葉で表現する。	・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話したり分からないことを尋ねたりする。 ・日常生活の中で、文字などを使いながら思ったことや考えたことを伝える楽しさを味わい、文字に対する興味、関心を広げる。
			表現	・保育者と一緒に歌やリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・水、砂、土、紙など、様々な素材に触れ、感覚を十分に楽しむ。	・保育者や友だちと一緒に歌を歌ったり、手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。 ・生活の中での様々な経験を通して、自分なりのイメージを膨らませながら楽しんで遊ぶ。	・歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりして音楽に親しむ。 ・身近な環境と十分に関わりながら、感じたことや考えたことなどを自由に描いたり、作ったりして楽しむ。	・楽器の使い方を知り、音楽に合わせて表現するのを楽しむ。 ・様々なイメージを膨らませながら描いたり形にしたりし、出来たものを友だちに見せ、認め合う喜びを味わう。	・共通の目的に向かって、友だちと一緒に作りあがる楽しさや、達成感を味わう。 ・身近な自然の事象に関心を持ち、美しさや不思議さ、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
食育	・和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わい、食べることに意欲をもつ。	・ゆったりとした雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする。	・ゆったりとした雰囲気の中で、友だちと楽しく食べる。 ・様々な種類の食べ物や料理を味わう。	・食事のマナーや食具の使い方を知り、友だちと楽しく食べる。 ・献立や食品に興味をもつ。	・食事の基本的なマナーを身につけ、みんなで楽しく食べる。 ・食に関わる体験に関心をもつ。	・食材と身体の関係に関心を持ち、様々な食材を進んで摂ろうとする。 ・意欲をもって食に関わる体験を楽しむ。		
健康支援	・健康及び保育発達状態の定期的、継続的な把握 ・年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科)・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められた時の適切な対応 ・健康管理保健計画の作成 ・食物アレルギー児への対応							
保健衛生安全管理	・感染予防対策の作成と実施、及び保護者との情報共有(掲示) ・保健衛生、安全対策マニュアルの作成 ・ヒヤリハットの記録及び職員会議で確認 ・午睡チェック及び記録 ・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒、安全管理、自主点検 ・外部業者による遊具点検及び園庭整備(砂場の消毒) ・毎月の避難訓練、交通安全指導 ・危機管理体制の揭示 ・出欠、人数確認の徹底							